

## 2023年度を迎えて

公益社団法人東京都山岳連盟  
会長 松本 敏

殊の外寒かったこの冬が終わり、本格的な春を迎えました。北国からも桜の開花のニュースが届くころですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、2023年度が始まりました。今年は、都岳連創立75周年、そして、公益法人への移行10周年の佳節の年であります。また、時を合わせるようにこの5月の通常総会では、第6期理事・監事の改選が行われます。既にホームページなどで役員選任についてお知らせいたしましたのでご覧ください。特に、第5期からは個人会員も理事・監事になれるよう役員選任規程を改定いたしました。現在は、10人の理事のうち1名が個人会員です。専門委員長、また、専門委員として活躍している個人会員が増えてきていることから、個人会員の皆様が都岳連の業務と事業に一層参画することを期待しております。

また、この2月の理事会で専門部委員長など役員の定年制が議決されました。これは、スポーツ庁が示す一般競技団体のガバナンスコードによりますが、それ以上に、都岳連の運営に中堅層や若手の新しい知識やスキルを活かし、都岳連を活性化したいとの願いからのものです。実技講習の講師は70歳、委員会運営のマネジメントなどのスタッフは75歳で定年としました。人材確保が難しくなるのではとの意見もありましたが、それ以上のメリットがあるだろうとのことで実施が決まりました。

以上の様に、今年度は新しい体制でのスタートになります。末筆ながら、加盟会と個人会員の皆様、また、賛助会員はじめ関係者の皆様には一層のご支援をお願い申し上げ年度初めのごあいさつとさせていただきます。